



2019年11月

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2019年11月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2019年11月 \(4 ページ\)](#)
- [不具合 \(5 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- 分析の前後に基づいてイベントの影響を測定する新しいアプリの [Impact Analysis]。
- [Monitoring & Support] セクションに、すべてのパートナーアプリの正常性と稼働時間が表示されるようになりました。
- パートナーダッシュボードが拡張され、アクティベーションウィザードの最初のウィンドウとして [Sign up and Onboarding] ウィンドウが表示されるようになりました。
- アクティベーションウィザードからアプリの利用規約をダウンロードするようにプロビジョニングしました。
- パートナーダッシュボードに2つの新しい Firehose API イベントを追加し、2つの既存のイベントを廃止しました。
- サインアップ URL を追加するためのパートナーダッシュボードの新しいテキストフィールドが追加されました。

- パートナーダッシュボードにパートナーのアプリアクティベーションの総数が表示されるようになりました。
- Meraki API キーを使用して接続した場合、Meraki フロアのネットワーク同期サポートが提供されるようになりました。
- 行動メトリクスでは、「ロケーション」と「訪問者」を表示する代わりに、副業種固有の用語が表示されるようになりました。
- [Trigger API] の [Engagement Rule] にカスタム変数を追加するサポートを有効にしました。
- パートナーダッシュボードで、OAuth ベース URL フィールドの検証を有効にし、URL に https プロトコルのみを含めるように注記を追加しました。

新機能：2019年11月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

影響分析

新しいアプリ [Impact Analysis] を Cisco Spaces ダッシュボードで利用できるようになりました。影響分析は、行ったアクションの効果を分析の前後に基づいて測定する方法です。ビジネス拠点に対するイベントや変更が行動メトリクスに与える影響を確認できます。

これは、特定の期間中のロケーションの指標を分析し、過去365日間の日次平均または前年と同じ期間と比較するのに役立ちます。このアプリは、SEE、ACT、およびExtend ライセンスタイプで利用できます。

特定の期間のイベントを作成し、イベント期間中のメトリクスを次のメトリクスと比較できます。

- 過去365日間の1日の平均
- 今年の同時期。

次の指標を比較できます。

- 滞在時間
- 訪問回数

レポートに比較レポートが表示されます。レポートには次のデータが含まれます。

- **訪問時間への影響**：イベントの平均訪問時間と、選択した時間枠の平均訪問時間を分単位で示す棒グラフを表示します。

- [Impact on Visit Count] : イベントの平均訪問回数と、選択した時間枠の平均訪問回数をパーセンテージで示す棒グラフを表示します。

たとえば、[From] を 2019 年 10 月 1 日、[To] を 2019 年 10 月 10 日、ビジネス拠点を B としてイベントを定義できます。比較するには、[Same period last year] を選択します。2019 年 10 月 1 日と 10 日のロケーション B でのパフォーマンスと、2018 年 10 月 1 日と 10 日のロケーション B でのパフォーマンスを示すレポートを取得します。

モニタリングとサポート

[Monitoring & Support] セクションには、顧客がアクティブ化したパートナーアプリの状態が表示されるようになりました。[Monitoring] タブの新しいセクションで、顧客がアクティブ化したすべてのアプリの稼働時間と正常性ステータスを表示する [Partner Apps] を使用できるようになりました。パートナーアプリのステータス概要は、[Summary] セクションに表示されま

す。

アプリのアクティベーションフロー

パートナーアプリの場合、[App Activation] ウィザードの最初のウィンドウが [Sign up and Onboarding] になります。

[Sign up and Onboarding] ウィンドウで、「<partner name> のアカウントを持っていません」を選択した場合、アカウントにサインアップしたい」というメッセージが表示されると、ウィンドウに [Sign Up] ボタンが表示されます。[Sign Up] ボタンは、パートナーダッシュボードでアプリ用に設定されたサインアップ URL にリダイレクトされます。[Sign Up] ボタンは、パートナーがパートナーダッシュボードの [App Title] タブで [Sign Up URL] フィールドを構成している場合にのみ表示されます。

アプリのアクティベーション条件

パートナーアプリの場合、アクティベーションウィザードの [Accept Terms & Conditions] ウィンドウに、利用規約をダウンロードするためのリンクが表示されます。利用規約をテキスト形式でダウンロードできます。

パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

- [Event Types] : 2 つの新しい Fire Hose API イベント、[Device Presence] と [User Presence] がパートナーアプリ用に新たに追加されました。[Device Active] および [Device Passive] イベントは廃止されました。
- [Sign Up URL] フィールド : アプリの [App Title] タブに新しいフィールド [Sign Up URL] が追加され、アクティベーション中に [Sign Up] ボタンをクリックした後に顧客がリダイレクトされる URL を指定します。
- [Total Count of Activated Apps] : パートナーがパートナーダッシュボードにログインすると、特定のパートナーのすべてのアプリで発生したアクティブ化の総数がダッシュボードの右上に表示されます。

ネットワーク同期サーバー

Cisco Spaces が Meraki API キーを使用して Meraki ネットワークに接続されている場合、ネットワーク同期サーバーは、Meraki フロアの同期をサポートするようになりました。したがって、フロアはロケーション階層にインポートされ、ネットワーク同期サーバーによって Cisco Meraki と同期されます。以前は、Meraki API キーを使用して接続すると、フロアがインポートされず、同期が行われませんでした。

機能強化：2019年11月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

行動メトリクス

行動メトリクスレポートでは、小売業の場合、説明に記載されている訪問者とロケーションに関する用語は、ビジネスの副業種に基づいて変更できます。さまざまなサブカテゴリの推奨テキストは、次の表のとおりです。

表 1: さまざまな副業種のテキスト

テキスト	レストラン	ジム	博物館	クラブ	カジノ	金融リテール	自動車ディーラー	デフォルト/その他すべて
ビジター	ダイナー	メンバー	ビジター	メンバー	ゲーマー	カスタマー	カスタマー	ビジター
ロケーション	レストラン	ジム	博物館	クラブ	カジノ	支店	ディーラー	ロケーション

ただし、提案された副業種用語は、リクエストベースでのみ使用されます。この機能を利用したい場合は、Cisco Spaces Cisco Spaces サポートチームにお問い合わせください。

トリガー API のカスタム変数サポート

[Engagements] ルールでは、Trigger API のメソッド、GET、POST FORM、POST BODY、および POST JSON のカスタム変数を定義できるようになりました。メソッドの変数フィールドをクリックすると、事前定義された変数とともに [Custom Variable] ボタンが表示されます。POST BODY メソッドの場合、現在、POST BODY DATA フィールドのカスタム変数サポートはありませんが、今後のリリースでサポートされる予定です。一方、URI フィールドにはカスタム変数のサポートがありません。

アプリダッシュボード URL の検証

パートナーダッシュボードのアプリの [App Title] タブで、URL に https プロトコルのみを含めるように求めるメモが [OAuth Base URL] フィールドに追加されます。さらに、パートナーダッシュボードは、保存中にこの URL を検証し、検証に失敗した場合、または URL が安全でない場合 (HTTPS)、エラーメッセージを表示するように拡張されています。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 2: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCVq83680	RBAC：特定の場所にアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCVq24076	Right Now：ロケーション階層を変更すると、既存の関連するカウンタがクリアされない。
CSCVp57525	ロケーション分析：滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している
CSCVr99306	エンゲージメントルール リンク テンプレートは、リンクに対して利用可能な検証がない。プレーンテキストも受け入れる。

CDETS ID 番号	説明
CSCvr99286	既存のポータル名のエラーメッセージを使用してポータル名の名前を変更することは正しくない。
CSCvr89015	アクティベーション中に間違ったパスワードを入力すると、アクティベーションページがロードされ続ける。
CSCvr88600	名前変更テキストボックスに表示されている html タグを検索して名前を変更する。
CSCvr95954	[captive portal] タイルをクリックすると、ポータルリストページのロード中に数秒間空白のページが表示された。
CSCvs17068	SSID : ネットワーク名がスペースで始まる場合、Meraki の SSID を削除できない。

修正されたバグ

表 3: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvs06204	Cisco Spaces レポートの日付/日が間違っている。
CSCvr21932	RBAC : V3 SNMP バージョンを使用してコントローラを作成できない (コントローラの作成に失敗)
CSCvs10018	現在のセッションが見つかりません。ライブダッシュボードに表示されるエラーを再度ログインしてください。
CSCvs05071	Meraki API キー : Meraki の認証後、ワイヤレスネットワークのステータスが接続済みとして表示されなかった。
CSCvr93655	CMX テザリング : 1 つのフロアのみが追加され、残りはすべてクリアされ、インポートされない
CSCvr88647	すべてのロケーション : 同じ拠点の名前を変更しても、検証メッセージは表示されない。
CSCvr95920	ルール : ユーザーが「インターネットをシームレスにプロビジョニング」オプションを選択した場合、成功メッセージは表示されない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。